

1 小・中・高等・支援学校教諭の研修

1. 研修の必要性

(1) これからの学校に期待される役割

- グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化が進んでいく中で、21世紀を生き抜く力を育成するため、これからの学校は、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、多様な人間関係を結んでいく力の育成等を重視する必要があります。
- 一方、いじめ・暴力行為・不登校等への対応、支援教育の充実、ICTの活用など、諸課題への対応も必要となっています。

(2) 教職生活全体を通じて「学び続ける教員」が求められている

- 学校教育への期待がますます高まっていく中で、学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて探究心を持ちつつ、自律的かつ継続的に新しい知識・技能を学び続ける教員が求められています。
- このような社会からの期待に応えるとともに、子どもたちに「生きる力」や学ぶ喜びをはぐくみ、子どもたちのよりよく生きたいとの願いに応えるためには、教職生活全体を通じて、実践的指導力等を高める必要があります。
- 予測困難な世の中で子どもをはぐくむ立場として、教員は、「研修」（「研究」と「修養」）に努めることがより求められています。
- 知識・技能をより豊かにし、広い視野と柔軟な思考力を保つために常に探究心をもち、学び続けていきましょう。



大阪府教育センターでの理科授業づくり研修

■ これからの時代の教員に求められる資質能力 ■

- ◆ 教師に求められる資質・能力は、(中略) 使命感や責任感、教育的愛情、教科や教職に関する専門的知識、実践的指導力、総合的人間力、コミュニケーション能力、ファシリテーション能力などが挙げられている。
- ◆ 時代の変化に対応して求められる資質・能力として、近年では、AI やロボティクス、ビッグデータ、IoT といった技術が発展した Society5.0 時代の到来による情報活用能力等が挙げられ、特に、学習履歴 (スタディ・ログ) の利活用など、教師のデータリテラシーの向上が一層必要となってくると考えられる。

(中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～ (答申) (令和3年1月26日) より抜粋)

(3) 研修に関する法律

教員に関する研修については、「教育公務員特例法」で、下記のように定められています。

- 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。(第21条)
- 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。(第22条第1項)
- 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。(第22条第2項)
- 任命権者は、校長及び教員ごとに研修等に関する記録を作成しなければならない。(第22条の5第1項及び第2項)

2. 研修の種類と機会

(1) 校外における研修

- 大阪府教育センターでは、教育公務員特例法に基づき、人権教育、支援教育、教育相談・生徒指導、ICT活用、教育諸課題などの課題ごとに行われる「課題別研修」や、「授業力向上研修」等の教職員研修を実施しています。

(下図参照)

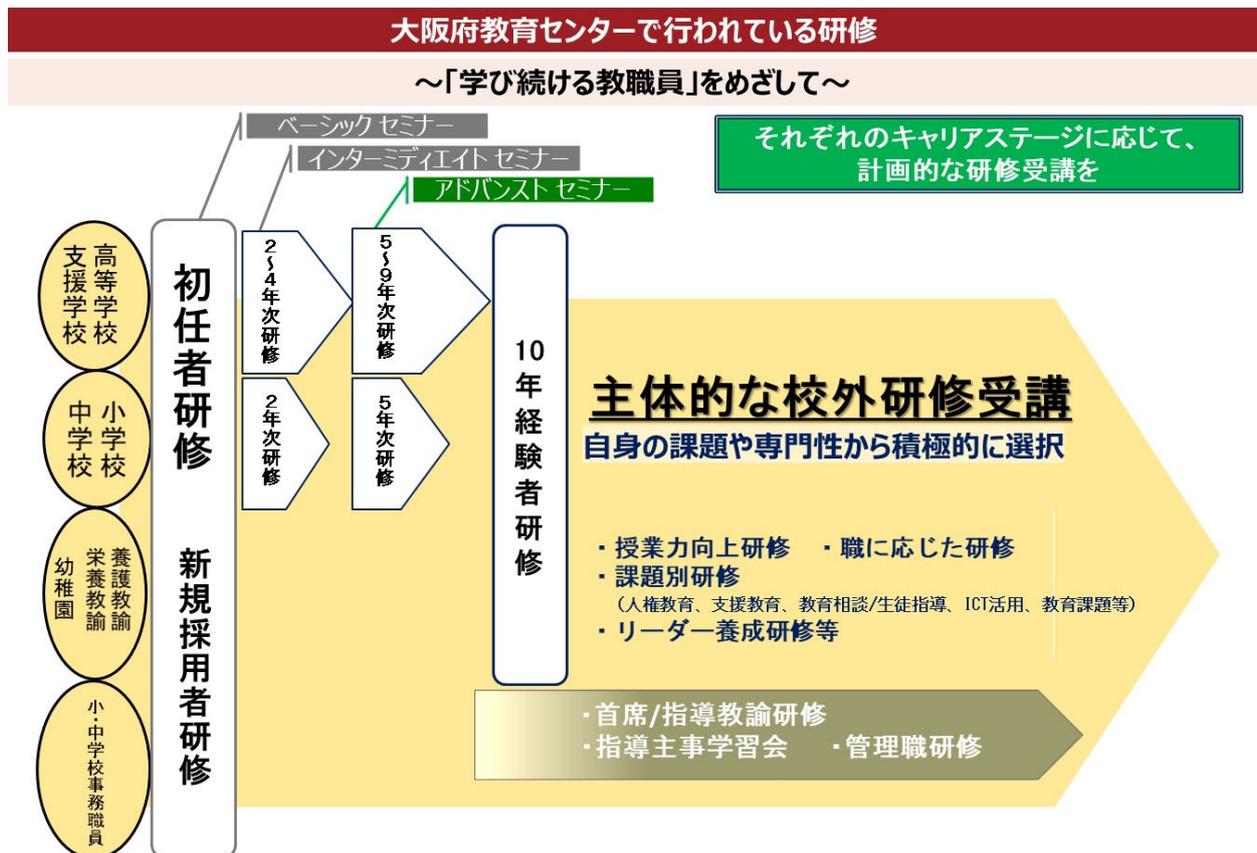
※受講に当たっては、所属長の承認が必要です。

研修内容、受講対象者、受講申込方法等の詳細については、大阪府教育センターWebサイト内の「研修情報」で紹介していますので、確認してください。

- その他、各市町村教育委員会、各地区・市町村教育研究会、研究団体等の主催する研修会及び他校での研究発表会などがあります。



大阪府教育センターでの研修



(2) 校内における 研修

各学校においては、教育内容の質的向上と教職員の指導力向上、各学校の教育課題解決のために、校内研修が組織的・計画的に実施されています。

(3) 自主研修

- 職務としての研修を受ける機会が与えられているほか、自発的に研修を行うことも期待されています。
- 自主研修には、次のような場合があります。

ア. 職務専念義務を免除されて行う場合（承認研修）

教育公務員には、授業に支障のない限り、校長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修（承認研修）を行うことが認められています。承認研修は、研修内容や場所の妥当性、研修効果等、法の趣旨を踏まえたものである必要があります。

イ. 勤務時間外に自主的に行う場合（自主研修）

教職員には、勤務時間外にあっても、自発的に研修に参加し、あるいは自ら研修することが大切です。



校内での授業力向上に係る研修

3. 小・中・高等・支援学校初任者研修

(1) 目的

初任者研修は、「教育公務員特例法第23条」に基づき、新任教諭に対して1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を目的としています。

※実施要項（【巻末】資料2）参照

(2) 内容

基礎的素養、教科指導、道徳、特別活動、人権教育、支援教育、生徒指導、学級経営（ホームルーム経営）など教諭の職務の遂行に必要な事項について、校外及び校内において実施します。

ア. 校外研修：大阪府教育センター等における研修を受けるものとする。

※回数、内容等詳細については、初任者研修 校外研修年間計画（I-【1】-3. 資料1）参照

イ. 校内研修：指導教員を中心とする指導及び助言による研修を受けるものとする。

※回数、内容等詳細については、校内研修カレンダー（モデル）（I-【1】-3. 資料2）参照

※「指導教員」は、校長の指導の下に、年間指導計画に従い、初任者に対して指導及び助言を行います。中学校、高等学校及び支援学校においては、指導教員の免許教科が初任者の免許と異なる場合は、原則として、初任者の免許教科に応じ、「教科指導員」を置くことになっています。



初任者研修 大ホールでの講義

令和7年度 小学校初任者研修 校外研修年間計画

回	1班	2班	内容	会場等
1	4/4(金)～4/15(火)		セルフマネジメント ー働くための基礎的スキルー 児童生徒理解を深めるために ー働きかけの重要性ー 児童生徒の健康と正しい理解	オンデマンド開催
2	4/4(金)～4/15(火)		今求められる資質・能力を育む授業づくり1【理論①】	オンデマンド開催
	4/15(火)	4/24(木)	開講式 今求められる資質・能力を育む授業づくり1【理論①】	大阪府教育センター
3	4月～7月		今求められる資質・能力を育む授業づくり2【実践①】	所属校等
4	5月中		授業づくり ー総合的な学習の時間や特別活動における、体験的な活動を取り入れた授業づくり等ー	市町村教育委員会 から別途通知
5	5/13(火)	5/15(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり3 ー国語・算数の授業づくりー	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
6	5/20(火)～7/17(木)		子どもの命と安全を守る取組み ー学校における危機管理ー 人権について考える ー人権尊重の教育についてー セクシュアルハラスメントの防止と対応	オンデマンド開催
7	6月中		授業づくり ー授業見学等ー	市町村教育委員会 から別途通知
8	6/24(火)	6/26(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり4 ー「特別の教科 道徳」の授業づくりー	大阪府教育センター
	15:00～17:00			
	5/20(火)～7/17(木)		セルフマネジメント ーメンタルヘルスケアー	オンデマンド開催
9	7/22(火)～9/18(木)		支援教育の現状と課題 ー子どもを理解する方法とその指導・支援の在り方についてー	オンデマンド開催
10	7/28(月)	7/29(火)	児童生徒理解を深めるために ー不登校・いじめ・児童虐待等について／児童生徒・保護者との 関わり方ー	大阪府教育センター
	9:30～12:30			
11	7/28(月)	7/29(火)	人権について考える ー在日外国人教育についてー	大阪府教育センター
	13:30～15:00			
	7/22(火)～9/18(木)		人権について考える ージェンダー平等教育・性の多様性についてー	オンデマンド開催
12	夏季休業中		人権教育研修 ー市町村における人権教育の現状と課題ー	市町村教育委員会 から別途通知
13	8/18(月)	8/21(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり5【検証①】	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
14	9/2(火)	9/4(木)	学校・家庭・地域の連携・協働について 今求められる資質・能力を育む授業づくり6【理論②】	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
15	9月～12月		今求められる資質・能力を育む授業づくり7【実践②】	所属校等
16	9月～2月		授業づくり ー地域教材・地域人材等の活用ー	市町村教育委員会 から別途通知
17	11/11(火)	11/13(木)	人権について考える ー同和教育について／大阪国際平和センターの見学ー	大阪国際平和センター (ピースおおさか)
	14:30～17:00			
18	1月～2月		児童生徒理解を深めるために ー学級経営の実際、子ども理解ー	市町村教育委員会 から別途通知
19	2/17(火)	2/19(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり8【検証②】	大阪府教育センター
	14:00～17:00		閉講式	

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

令和8年度 小学校2年次研修 校外研修年間計画

20	令和8年度実施		セルフマネジメント ー学び続ける教職員であるためにー 児童生徒理解を深めるために ー校種間連携について／学級危機管理についてー	大阪府教育センター
21 ～ 23	令和8年度実施		市町村教育委員会 実施研修 (全3回) (社会体験や各市町村の福祉教育等に関する内容を含む)	市町村教育委員会 から別途通知
24	令和8年度実施		授業づくり ー授業研究ー	所属校等
25	令和8年度実施		授業づくり ー授業研究報告ー	大阪府教育センター

令和7年度 中学校初任者研修 校外研修年間計画

回	1班	2班	内容	会場等
1	4/4(金)～4/15(火)		セルフマネジメント ー働くための基礎的スキルー 児童生徒理解を深めるために ー働きかけの重要性ー 児童生徒の健康と正しい理解	オンデマンド開催
2	4/8(火)～4/17(火)		今求められる資質・能力を育む授業づくり1【理論①】	オンデマンド開催
	4/22(火)	5/1(木)	開講式 今求められる資質・能力を育む授業づくり1【理論①】	大阪府教育センター
3	4月～7月		今求められる資質・能力を育む授業づくり2【実践①】	所属校等
4	5/20(火)	5/22(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり3 ー「特別の教科 道徳」の授業づくりー	大阪府教育センター
	15:00～17:00			
	5/20(火)～7/17(木)		セルフマネジメント ーメンタルヘルスケアー	オンデマンド開催
5	5月中		授業づくり ー総合的な学習の時間や特別活動における、体験的な活動を取り入れた授業づくり等ー	市町村教育委員会 から別途通知
6	5/20(火)～7/17(木)		子どもの命と安全を守る取組み ー学校における危機管理ー 人権について考える ー人権尊重の教育についてー セクシュアルハラスメントの防止と対応	オンデマンド開催
7	6月中		授業づくり ー授業見学等ー	市町村教育委員会 から別途通知
8	7/22(火)～9/18(木)		支援教育の現状と課題 ー子どもを理解する方法とその指導・支援の在り方についてー	オンデマンド開催
9	7/28(月)	7/29(火)	児童生徒理解を深めるために ー不登校・いじめ・児童虐待等について/児童生徒・保護者との 関わり方ー	大阪府教育センター
	9:30～12:30			
10	7/28(月)	7/29(火)	人権について考える ー在日外国人教育についてー	大阪府教育センター
	13:30～15:00			
	7/22(火)～9/18(木)		人権について考える ージェンダー平等教育・性の多様性についてー	オンデマンド開催
11	夏季休業中		人権教育研修 ー市町村における人権教育の現状と課題ー	市町村教育委員会 から別途通知
12	8/26(火)	8/28(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり4【検証①】	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
13	9/9(火)	9/11(木)	学校・家庭・地域の連携・協働について 今求められる資質・能力を育む授業づくり5【理論②】	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
14	9月～12月		今求められる資質・能力を育む授業づくり6【実践②】	所属校等
15	9月～2月		授業づくり ー地域教材・地域人材等の活用ー	市町村教育委員会 から別途通知
16	10/7(火)	10/9(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり7 ー教科の特性を生かした授業づくりー	大阪府教育センター
	14:00～17:00			
17	11/11(火)	11/13(木)	人権について考える ー同和教育について/大阪国際平和センターの見学ー	大阪国際平和センター (ピースおおさか)
	14:30～17:00			
18	1月～2月		児童生徒理解を深めるために ー学級経営の実際、子ども理解ー	市町村教育委員会 から別途通知
19	1/20(火)	1/22(木)	今求められる資質・能力を育む授業づくり8【検証②】	大阪府教育センター
	14:00～17:00		閉講式	

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

令和8年度 中学校2年次研修 校外研修年間計画

20	令和8年度実施		セルフマネジメント ー学び続ける教職員であるためにー 児童生徒理解を深めるために ー校種間連携について/学級危機管理についてー	大阪府教育センター
21 ～ 23	令和8年度実施		市町村教育委員会 実施研修 (全3回) (社会体験や各市町村の福祉教育等に関する内容を含む)	市町村教育委員会 から別途通知
24	令和8年度実施		授業づくり ー授業研究ー	所属校等
25	令和8年度実施		授業づくり ー授業研究報告ー	大阪府教育センター

令和7年度 高等学校初任者研修 校外研修年間計画

回	1班	2班	内容	会場等
1	4/4(金)～4/15(火)		セルフマネジメント ー働くための基礎的スキルー 児童生徒理解を深めるために ー働きかけの重要性ー 児童生徒の健康と正しい理解	オンデマンド開催
2	4/15(火) 14:00～17:00		開講式 授業づくり ー今求められる資質・能力を育む授業づくりー	大阪府教育センター
3	5/13(火) 14:00～17:00		授業づくり ー各教科で育成をめざす資質・能力と求められる授業ー	大阪府教育センター
4	5/27(火) 14:00～17:00		授業づくり ー各教科における指導の工夫ー	大阪府教育センター
5	5/20(火)～7/17(木)		セルフマネジメント ーメンタルヘルスケアー 児童生徒理解を深めるために ーキャリア教育と進路指導について/ホームルーム経営について①ー	オンデマンド開催
6	5/20(火)～7/17(木)		子どもの命と安全を守る取組み ー学校における危機管理ー 人権について考える ー人権尊重の教育についてー セクシュアルハラスメントの防止と対応	オンデマンド開催
7	各教科の指定する日時 (主に6月中)		授業づくり ー先輩の授業に学ぶー	府立高等学校等 (別途通知)
8	7/1(火) ※地理歴史、公民、公民・福祉共通 芸術、家庭 7/8(火) 14:00～17:00		授業づくり 単元のねらいを意識した授業づくり【理論】	大阪府教育センター
9	各教科の指定する日時 (主に7月～9月)		授業づくり ー授業力向上①ー	大阪府教育センター等 (別途通知)
10	各教科の指定する日時 (主に7月～9月)		授業づくり ー授業力向上②ー	大阪府教育センター等 (別途通知)
11	7/22(火)～9/18(木)		支援教育の現状と課題 ー子どもを理解する方法とその指導・支援の在り方についてー	オンデマンド開催
12	8/1(金)	8/4(月)	児童生徒理解を深めるために ー不登校・いじめ・児童虐待等について/児童生徒・保護者との 関わり方ー	大阪府教育センター
	9:30～12:30			
13	8/1(金)	8/4(月)	人権について考える ー在日外国人教育についてー	大阪府教育センター
	13:30～15:00			
14	7/22(火)～9/18(木)		人権について考える ージェンダー平等教育・性の多様性についてー	オンデマンド開催
14	9/30(火) 14:00～17:00		授業づくり ー各教科における具体的な授業実践①ー	大阪府教育センター
15	10/14, 21, 11/4, 18(火) 指定する日 14:00～17:00		支援教育の現状に学ぶ ーともに学び、ともに育つー	府立高等学校等 (別途通知)
16	10/28(火) 14:00～17:00		授業づくり ー各教科における具体的な授業実践②ー	大阪府教育センター
17	11/11(火) 14:00～17:00		授業づくり ー各教科における具体的な授業実践③ー	大阪府教育センター
18	11/25(火)	12/2(火)	人権について考える ー同和教育について/大阪国際平和センターの見学ー	大阪国際平和センター (ピースおおさか)
	14:30～17:00			
19	12/9(火)～12/18(木)		人権について考える ー府立学校における人権教育の課題と推進ー	オンデマンド開催 大阪府教育センター
	1/6(火) 15:00～17:00			
20	1/13(火) 14:00～17:00		授業づくり 単元のねらいを意識した授業づくり【検証】 ー今年度の振り返りと次年度に向けた取組みー	大阪府教育センター
21	2/3(火) 14:00～17:00		学校・家庭・地域の連携・協働について 児童生徒理解を深めるために ーホームルーム経営について②ー セルフマネジメント ー1年間の振り返りと今後に向けてー 閉講式	大阪府教育センター

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

令和8年度 府立学校インターメディアイトセミナー(2～4年次研修)

22 ～ 25	令和8年度実施	授業づくり(全3回) 【理論】【実践】【検証】 思考力・判断力・表現力等の育成をめざした授業とその評価 児童生徒理解を深めるために ー不登校・いじめへの対応/カウンセリングの考え方と学校教育 相談ー	詳細については 後日別途通知
---------------	---------	---	-------------------

令和7年度 支援学校初任者研修 校外研修年間計画

回	1班	2班	内容	会場等
1	4/4(金)～4/15(火)		セルフマネジメント 一働くための基礎的スキルー 児童生徒理解を深めるために 一働きかけの重要性ー 児童生徒の健康と正しい理解	オンデマンド開催
2	4/22(火)	4/24(木)	開講式 支援学校における指導・支援の在り方	大阪府教育センター
3	5/20(火)	5/22(木)	授業づくり 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の 作成と活用【理論】	大阪府教育センター
4	5月～11月		授業づくり 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の 作成と活用【実践】	所属校等
5	5/27(火)	5/29(木)	授業づくり ー自立活動の指導ー	大阪府教育センター
6	6/10(火)	6/12(木)	授業づくり 目標に準拠した授業と学習評価【理論】	大阪府教育センター
7	6月～1月		授業づくり 目標に準拠した授業と学習評価【実践】	所属校等
8	5/20(火)～7/17(木)		子どもの命と安全を守る取組み ー学校における危機管理ー 人権について考える ー人権尊重の教育についてー セクシュアルハラスメントの防止と対応	オンデマンド開催
9	7/8(火)	7/10(木)	学校・家庭・地域の連携・協働について	大阪府教育センター
	5/20(火)～7/17(木)		セルフマネジメント ーメンタルヘルスケアー	オンデマンド開催
10	7/25(金) 14:00～17:00		児童生徒理解を深めるために ー子ども理解と関係機関との連携ー	大阪府教育センター
11	8/1(金)	8/4(月)	児童生徒理解を深めるために ー不登校・いじめ・児童虐待等について/児童生徒・保護者との 関わり方ー	大阪府教育センター
12	8/1(金)	8/4(月)	人権について考える ー在日外国人教育についてー	大阪府教育センター
	7/22(火)～9/18(木)		人権について考える ージェンダー平等教育・性の多様性についてー	オンデマンド開催
13	8/26(火)	8/28(木)	Aグループ 9:30～12:30 Bグループ 14:00～17:00	大阪府教育センター
14	9/16(火)	9/18(木)	授業づくり ー指導上の安全管理ー	大阪府教育センター
15	9/30, 10/7(火)	10/2, 9(木)	授業づくり ー初任者による授業ー	府立支援学校
16	10/21(火)	10/23(木)	授業づくり ーキャリア教育の推進ー	大阪府教育センター
17	11/25(火)	11/27(木)	人権について考える ー同和教育について/大阪国際平和センターの見学ー	大阪国際平和センター (ピースおおさか)
18	12/2(火)	12/4(木)	授業づくり 「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の 作成と活用【検証】	大阪府教育センター
19	12/9(火)～12/18(木)		人権について考える ー府立学校における人権教育の課題と推進ー	オンデマンド開催
	1/6(火)	1/8(木)		大阪府教育センター
20	1/20(火)	1/22(木)	授業づくり 目標に準拠した授業と学習評価【検証】	大阪府教育センター
21	1/27(火)	1/29(木)	支援教育の課題と展望 セルフマネジメント ー1年間の振り返りと今後に向けてー 開講式	大阪府教育センター

※太字の時間帯は、通常の時間帯と異なるので注意してください。

令和8年度 府立学校インターメディアイトセミナー (2～4年次研修)

22 ～ 25	令和8年度実施	授業づくり(全3回) 【理論】【実践】【検証】 子ども主体の授業づくりとその評価 児童生徒理解を深めるために ー不登校・いじめへの対応/カウンセリングの考え方と学校教育 相談ー	詳細については 後日別途通知
---------------	---------	--	-------------------

小学校・中学校 初任者校内研修カレンダー(モデル)【○:共通指導項目 ▲:学校裁量項目】

〈資料2-1〉

	授業・教科の指導力	集団づくりに取組む力	教員に求められる基礎的素養	組織の一員としての力	社会人としての基礎的素養
4月	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり ○ 教科指導の基礎技術(話し方・聞き方・書き方) ○ 授業実践に関する技術(発問・指名の仕方) ○ 授業実践に関する技術(板書の工夫) ○ 教科・領域の指導方針と年間計画 ○ 授業観察指導(事前事後指導を含む) ○ 示範授業(事前事後指導を含む) ○ 授業参観指導(事前事後指導を含む) ○ 教科等で行う組織的な授業づくり ○ 教材研究の進め方 ▲	学級の組織づくり ○ 教室環境の整備 ○ 生活や学習のルールづくり ○ 授業参観・懇談会(1学期) ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 障がいのある児童生徒に対する理解と支援 ○ 生徒指導(指導方法全般) ○ 学級通信の作成 ▲ 生徒指導(ほめ方、叱り方) ▲ 生徒指導(家庭訪問の心得) ▲	個人情報の取扱い ○ 人権教育 ○ 食に関する指導・給食指導 ○ 保健・安全管理(緊急時の避難方法) ▲ 就学援助等 ▲	学校の歴史と地域の特色 ○ 学校経営計画、学校教育目標 ○ 学級経営の内容と果たす役割 ○ 学級経営方針と学級目標 ○ 校務分掌 ○ 学校の課題と児童生徒の実態 ○ 学校の生徒指導体制 ○	教職員の服務、心構え、マナー ○ 学校の組織と勤務のしくみ ○
5月	授業実践に関する技術(ノートのとらせ方) ○ 授業における児童生徒理解 ○ 児童生徒の学習状況の把握 ○ 教材研究の方法と実際 ○ 定期考査【中学校】 ○ 授業参観の観点 ▲ 学習指導と評価の要点(指導に生かす評価) ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)② ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)② ▲	学級集団づくり ○ 保護者との連携 ○ 特別活動の取組みと学級経営 ○ 集団活動の指導 ○ 児童会生徒会活動 ○ 校外学習 ○	いじめの理解と指導 ○ 教材・備品の活用と管理 ○ 保健室の機能 ○ 情報モラル教育 ○	教育相談の目的と内容 ○	諸表簿の作成と管理 ○
6月	児童生徒主体の授業づくり ○ 各教科等における言語活動の充実 ○ 学習指導案の作成 ○ テストの作成と評価の在り方 ○ 研究授業の事前指導 ○ 研究授業 ○ 研究授業の事後指導 ○ 道徳の学習指導案の作成 ○ 水泳指導の在り方【小学校】 ○ 示範授業(事前事後指導を含む)③ ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)②【中学校】 ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)③【中学校】 ▲	支援を要する児童生徒への指導 ○	学校危機管理 ○ 保健・安全管理(AEDを使った心肺蘇生法) ○ キャリア教育の意義と実践 ○ 保健・安全管理(熱中症の予防) ▲ 進路指導【中学校】 ▲	不登校児童生徒の理解と支援 ○ 教職員の連携 ▲	成績等に関する諸表簿の作成 ○ 学校予算のしくみ ○ 教職員のメンタルヘルス ○
7月	ICT機器の活用 ○ 学習記録の分析 ○ 授業の分析と診断(課題や発問と反応) ○ 授業の分析と診断(資料提示や板書と反応) ○ 授業実践に関する技術(発問・指名の仕方)② ▲ 授業実践に関する技術(板書の工夫)② ▲ 授業実践に関する技術(ノートのとらせ方)② ▲ 水泳指導の在り方②【小学校】 ▲ 学習指導と評価の要点(評価の在り方) ▲ 授業の反省と改善点の検討 ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)②【小学校】③【中学校】 ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)③【小学校】④【中学校】 ▲	児童生徒集団の分析 ○ 長期休業中の過ごし方 ○ 保護者との連携(三者懇談) ▲ 障がいのある児童生徒に対する理解と支援② ▲ 夏季休業中の部活動指導【中学校】 ▲	1学期の総括と2学期の方針 ○	地域における支援教育の推進 ○ 関係諸機関との連携 ○ 校種間等連携 ▲	生徒指導上の諸課題への対応 ○
8月	学校図書館の活用 ○ 一斉指導と個別指導 ○ グループ学習の進め方 ○ 個に応じた指導の在り方 ○ 教材・教具の作成と活用 ○ 道徳教育の基礎的理解 ○ 総合的な学習の時間の指導 ○ ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり② ▲ 教科指導の基礎技術(話し方・聞き方・書き方)② ▲ 授業における児童生徒理解② ▲ 教科・領域の指導方針と年間計画② ▲	児童生徒による自主的な活動の運営 ○ 学校行事の意義と指導 ○ 支援を要する児童生徒への指導② ▲	教員研修とキャリアプラン ▲ 人権教育② ▲	学級経営と学年経営 ○ 学校と地域社会の連携 ○ 生徒指導に関する事例検討 ○	

小学校・中学校 初任者校内研修カレンダー(モデル)【○:共通指導項目 ▲:学校裁量項目】

【資料2-1】

	授業・教科の指導力	集団づくりに取り組む力	教員に求められる基礎的素養	組織の一員としての力	社会人としての基礎的素養
9月	授業実践に関する技術(効果的な資料の活用) ○ 外国語活動・外国語科の指導【小学校】 ○ 児童生徒主体の授業づくり② ▲ 学習指導案の作成② ▲ ICT機器の活用② ▲ 道徳における評価の在り方 ▲ 学習指導と評価の要点(評価の実践) ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)③【小学校】④【中学校】 ▲	夏季休業後の生徒指導 ○ ▲ 運動会・体育祭の取組みと学級経営 ▲ 集団活動の指導(修学旅行) ▲	防災教育 ○		
10月	児童生徒の学習状況の把握② ▲ 授業の分析と診断(課題や発問と反応)② ▲ 授業の分析と診断(資料提示や板書と反応)② ▲ 一斉指導と個別指導② ▲ 外国語活動・外国語科の指導②【小学校】 ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)④ ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)④【小学校】⑤【中学校】 ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)④【小学校】⑤【中学校】 ▲ 研究授業の事前指導② ▲ 研究授業② ▲ 研究授業の事後指導② ▲	クラブ活動指導【小学校】 ○ 部活動指導【中学校】 ○		P T A活動 ○	
11月	授業実践に関する技術(効果的な資料の活用)② ▲ テストの作成と評価の在り方② ▲ 学校図書館の活用② ▲ 学習記録の分析② ▲ グループ学習の進め方② ▲ 個に応じた指導の在り方② ▲ 教材・教具の作成と活用② ▲ 道徳教育の基礎的理解② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)⑤ ▲ 授業の反省と改善点の検討② ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)⑤【小学校】⑥【中学校】 ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)⑤【小学校】⑥【中学校】 ▲				
12月	シラバスの評価・改善 ○ 各教科における言語活動の充実② ▲ 教材研究の方法と実際② ▲ 道徳の学習指導案の作成② ▲ 他教科領域等における道徳教育 ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)⑥ ▲		2学期の総括と3学期の方針 ○	教育相談に関する事例検討 ○	
1月	総合的な学習の時間の指導② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)⑦【中学校】 ▲ 研究授業の事前指導③【小学校】 ▲ 研究授業③【小学校】 ▲ 研究授業の事後指導③【小学校】 ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)⑦【中学校】 ▲				
2月	シラバスの評価・改善② ▲ 年度末の成績処理 ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)⑦【中学校】 ▲ カリキュラム改善の検討 ▲				指導要録の整理と管理 ▲ 年度末の学級事務の処理 ▲
3月			1年間の総括と次年度の方針 ○		

高等学校・支援学校 初任者校内研修カレンダー(モデル) 【○:共通指導項目 ▲:学校裁量項目】

〈資料2-2〉

	授業・教科の指導力	集団づくりに取組む力	教員に求められる基礎的素養	組織の一員としての力	社会人としての基礎的素養
4月	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり ○ 教科指導の基礎技術(話し方・聞き方・書き方) ○ 授業実践に関する技術(発問・指名の仕方) ○ 授業実践に関する技術(板書の工夫) ○ 教科・領域・科目の指導方針と年間計画 ○ 授業観察指導(事前事後指導を含む) ○ 示範授業(事前事後指導を含む) ○ 授業参観指導(事前事後指導を含む) ○ 教科等で行う組織的な授業づくり【高等学校】 ○ 教材研究の進め方 ▲	学級の組織づくり ○ 学級・HR集団づくり ○ 教室環境の整備 ○ 生活や学習のルールづくり ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 障がいのある生徒に対する理解と支援【高等学校】 ○ 障がい特性の理解と支援【支援学校】 ○ 個別の教育支援計画の作成と活用【支援学校】 ○ 生徒指導(指導方法全般) ○ 生徒指導(ほめ方、叱り方) ▲	個人情報の取扱い ○ 食に関する指導・給食指導・摂食指導 ○ 人権教育 ○ 保健・安全管理(緊急時の避難方法) ▲ 奨学金等【高等学校】 ▲ 就学援助・奨学金等【支援学校】 ▲	学校の歴史と地域の特徴 ○ 学校経営計画、学校教育目標 ○ 学級・HR経営の内容と果たす役割 ○ 校務分掌 ○ 学校の課題と児童生徒の実態 ○ 学校の生徒指導体制 ○	教職員の服務、心構え、マナー ○ 学校の組織と勤務のしくみ ○ SSCの取扱い ▲
5月	授業実践に関する技術(ノートのとらせ方) ○ 授業における児童生徒理解 ○ 児童生徒の学習状況の把握 ○ 教材研究の方法と実際 ○ 定期考査【高等学校】 ○ 授業参観の観点 ▲ 定期考査【支援学校】 ▲ 学習指導と評価の要点(指導に生かす評価) ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)② ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)② ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)③ ▲	保護者との連携 ○ 集団活動の指導【高等学校】 ○ 児童生徒会活動 ○ 交流及び共同学習の取組み【支援学校】 ○ 校外学習 ○ 生徒指導(家庭訪問の心得) ▲ 障がい特性の理解と支援②【支援学校】 ▲	いじめの理解と指導 ○ 教材・備品の活用と管理 ○ 保健室の機能 ○ 情報モラル教育 ○	学級・HR経営の方針と学級・HRの目標 ○ 教育相談の目的と内容 ○	諸表簿の作成と管理 ○
6月	児童生徒主体の授業づくり ○ 言語活動の充実による学びの質の向上 ○ 学習指導案の作成 ○ テストの作成と評価の在り方 ○ 研究授業の事前指導 ○ 研究授業 ○ 研究授業の事後指導 ○ 示範授業(事前事後指導を含む)③ ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)③ ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)④ ▲ 教科における基礎的素養 ○ 道徳の学習指導案の作成【支援学校】 ▲	支援を要する生徒への指導【高等学校】 ○	学校危機管理 ○ 保健・安全管理(AEDを使った心肺蘇生法) ○ キャリア教育の意義と実践 ○ 進路指導 ▲ 保健・安全管理(熱中症の予防) ▲	不登校児童生徒の理解と支援 ○ 教職員の連携 ▲	成績等に関する諸表簿の作成 ○ 学校予算のしくみ ○ 教職員のメンタルヘルス ○
7月	ICT機器の活用 ○ 学習記録の分析 ○ 授業の分析と診断(課題や発問と反応) ○ 授業の分析と診断(資料提示や板書と反応) ○ 授業実践に関する技術(発問・指名の仕方)② ▲ 授業実践に関する技術(板書の工夫)② ▲ 授業実践に関する技術(ノートのとらせ方)② ▲ 学習指導と評価の要点(評価の在り方) ▲ 授業の反省と改善点の検討 ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)④ ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)⑤ ▲ 教科における基礎的素養② ▲ 個別の指導計画の評価と改善(1学期)【支援学校】 ▲ 水泳指導の在り方【支援学校】 ▲	児童生徒集団の分析 ○ 長期休業中の過ごし方 ○ 障がいのある生徒に対する理解と支援②【高等学校】 ▲ 夏季休業中の部活動指導【高等学校】 ▲ 児童生徒会活動②【支援学校】 ▲ 保護者との連携(三者懇談) ▲	1学期の総括と2学期の方針 ○ 保健・安全管理(感染症の予防) ▲	関係諸機関との連携 ○ 地域における支援教育の推進【支援学校】 ○ 校種間等連携 ▲	生徒指導上の諸課題への対応 ○
8月	学校図書館の活用 ○ 一斉指導と個別指導 ○ グループ学習の進め方 ○ 個に応じた指導の在り方【高等学校】 ○ 個に応じた指導と集団づくり【支援学校】 ○ 教材・教具の作成と活用 ○ 道徳教育の基礎的理解 ○ 総合的な探求・学習の時間の指導 ○ 成績不振者に対する指導【高等学校】 ▲ ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり② ▲ 教科指導の基礎技術(話し方・聞き方・書き方)② ▲ 授業における児童生徒理解② ▲ 教科・領域・科目の指導方針と年間計画② ▲ 教科における基礎的素養③ ▲	児童生徒による自主的な活動の運営 ○ 学校行事の意義と指導 ○ 支援を要する生徒への指導②【高等学校】 ▲	教員研修とキャリアプラン ▲ 人権教育② ▲ 保健・安全管理(腰痛予防)【支援学校】 ▲	学級・HR経営と学年経営 ○ 学校と地域社会の連携 ○ 生徒指導に関する事例検討 ○ 転入考査【高等学校】 ▲ 中学校訪問の意義と目的【高等学校】 ▲ 学校園訪問の意義と目的【支援学校】 ▲	

高等学校・支援学校 初任者校内研修カレンダー(モデル) 【○:共通指導項目 ▲:学校裁量項目】

〈資料2-2〉

	授業・教科の指導力	集団づくりに取組む力	教員に求められる基礎的素養	組織の一員としての力	社会人としての基礎的素養	
9月	授業実践に関する技術(効果的な資料の活用) ○ ティーム・ティーチングの在り方【支援学校】 ○ 個別の指導計画の作成と活用【支援学校】 ○ 自立活動の指導の在り方【支援学校】 ○ 児童生徒主体の授業づくり② ▲ 学習指導案の作成② ▲ ICT機器の活用② ▲ 学習指導と評価の要点(評価の実践) ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)⑤ ▲ 教科における基礎的素養④ ▲ 外国語活動・外国語科の指導【支援学校】 ▲ 道徳における評価の在り方【支援学校】 ▲	夏季休業後の生徒指導 ○ 運動会・体育祭の取組と学級・HR経営 ▲ 集団活動の指導(修学旅行)【高等学校】 ▲	防災教育 ○			
10月	児童生徒の学習状況の把握② ▲ 授業の分析と診断(課題や発問と反応)② ▲ 授業の分析と診断(資料提示や板書と反応)② ▲ 一斉指導と個別指導② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)④ ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)⑥ ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)⑥ ▲ 研究授業の事前指導② ▲ 研究授業② ▲ 研究授業の事後指導② ▲ 教科における基礎的素養⑤ ▲	クラブ・部活動指導 ○ 障がい特性の理解と支援③【支援学校】 ▲	主権者教育【高等学校】【支援学校高等部】 ○	P T A 活動 ○		
11月	授業実践に関する技術(効果的な資料の活用)② ▲ テストの作成と評価の在り方② ▲ 学校図書館の活用② ▲ 学習記録の分析② ▲ 教科等で行う組織的な授業づくり②【高等学校】 ▲ グループ学習の進め方②【支援学校】 ▲ 個に応じた指導の在り方②【高等学校】 ▲ 自立活動の指導の在り方②【支援学校】 ▲ 教材・教具の作成と活用② ▲ 道徳教育の基礎的理解② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)⑤ ▲ 授業の反省と改善点の検討② ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)⑦【高等学校】 ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)⑦【高等学校】 ▲ 教科における基礎的素養⑥ ▲					
12月	シラバスの評価・改善 ○ 言語活動の充実による学びの質の向上② ▲ 教材研究の方法と実際② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)⑥【高等学校】 ▲ 成績不振者に対する指導②【高等学校】 ▲ 個別の指導計画の評価と改善(2学期)【支援学校】 ▲ 他教科領域等における道徳教育【支援学校】 ▲		2学期の総括と3学期の方針 ○	教育相談に関する事例検討 ○		
1月	総合的な探求・学習の時間の指導② ▲ 示範授業(事前事後指導を含む)⑦【高等学校】⑥【支援学校】 ▲ 授業観察指導(事前事後指導を含む)⑧【高等学校】⑦【支援学校】 ▲ 授業参観指導(事前事後指導を含む)⑧【高等学校】⑦【支援学校】 ▲			入学者選抜等【高等学校】【支援学校高等部】 ○		
2月	シラバスの評価・改善② ▲ カリキュラム改善の検討 ▲ 年度末の成績処理 ▲				指導要録の整理と管理 ▲ 年度末の学級事務の処理 ▲	
3月	個別の指導計画の評価と改善(年間)【支援学校】 ○	個別の教育支援計画の評価と改善【支援学校】 ○	1年間の総括と次年度の方針 ○ 支援教育の現状と課題【支援学校】 ○			

4. 自己成長・確認シート 教員としての実践的指導力を身に付けるために

(1) 目的

自己成長・確認シート（I-【1】-4. 資料3）の各項目について自己評価することによって自分の実践を振り返り、教員としての実践的指導力を身に付けるための成果と課題を明らかにします。

(2) 対象

小・中・高等・支援学校の初任者

(3) 評価項目

- 授業・教科の指導力
- 集団づくりに取り組む力
- 教員に求められる基礎的素養
- 組織の一員としての力
- 社会人としての基礎的素養

(4) 評価方法

4段階で自己評価します。

- 4：身に付いている
- 3：概ね身に付いている
- 2：あまり身に付いていない
- 1：身に付いていない

(5) レーダーチャート作成方法

- 右図のように、自己評価を数字で入力します。
- 「授業・教科の指導力」「集団づくりに取り組む力」「教員に求められる基礎的素養」「組織の一員としての力」「社会人としての基礎的素養」の5領域について、レーダーチャートが作成されます。

(6) 作成時期

- 第1回 4月頃
- 第2回 8月頃
- 第3回 2月頃
- 第4回 2年めの1月頃（小・中学校のみ）

		4月	8月	月	日	作成
授業・教科の指導力	1 教材理解	3				
	2 学習指導	3				
	3 授業技術	2				
	4 授業技術	3				
	5 評価と指導	1				
	6 授業改善	2				
集団づくりに取り組む力	1 背景理解	2				
	2 支援教育	3				
	3 生徒指導	2				
	4 保護者連携	1				
	5 集団把握	1				
	6 環境整備	3				
教員に求められる基礎的素養	1 信頼関係	2				
	2 人権意識	2				
	3 安全管理	3				
	4 情報モラル	3				
	5 学び続ける力	2				
	6 自己改善力	1				
組織の一員としての力	1 学校教育目標	2				
	2 同僚性	3				
	3 校内連携	2				
	4 外部連携	3				
	5 学級経営	2				
	6 PDCA活用	3				
社会人としての基礎的素養	1 課題解決	3				
	2 社会性	2				
	3 法令遵守	1				
	4 事務能力	3				
	5 効率的な業務	2				
	6 自己管理	2				

自己成長・確認シート（例）

5. マイ・ポートフォリオ

(1) 目的

- マイ・ポートフォリオ（I-【1】-5. 資料4）の（1）計画と各期の振り返りを記入することで、教職に就いた者としての初心や自己の実践を振り返っての成果と課題、今後の目標等について明らかにします。
- （2）研究授業を記入することで、研究授業にどのようなねらいを掲げて臨んだのか、事前指導や事後指導においてどのような指導助言を受けたのか、また、結果として何を得たのかを明らかにします。

(2) 作成時期

- （1）計画と各期の振り返りは、「自己成長・確認シート」No. 1, 2の作成時期に合わせて記入します。
- （2）研究授業は、研究授業を行う際に記入します。

※（1）（2）は作成後に指導教員等に提出し、右下の欄に記名をもらいます。

自己成長・確認シート No.1

- [1] 指定時期に、このページのレーダーチャートを作成する
- [2] マイポートフォリオ（様式見本）の①②を作成する

[1][2]を指導教員等へ提出
期日は、指導教員等に確認

		学校名	名前	4月	8月	月 日 作成
授業・教科の指導力	1 教材理解	子ども主体の学習指導案の作成のために、教材や学習指導要領の内容について理解する力				<p>授業・教科の指導力 4</p>
	2 学習指導案	ねらいを明確にし、学習計画を立て、基礎基本の定着を図り、知識を活用する力を育む、学習指導案を作成する力				
	3 授業技術1	効果的なICT活用や、ユニバーサルデザインの観点に基づいて、すべての子どもにとってわかりやすい授業を実践する力				
	4 授業技術2	授業を行う適切なスキル(説明、指示、板書、発問)を有し、子どもの状況を把握しながら授業を実践する力				
	5 評価と指導	学習に対する評価方法を理解し、学習指導に生かす力				
	6 授業改善	授業評価シートやアンケートフォームなどのICT活用を通して授業改善する力				
集団づくりに取り組む力	1 背景理解	保護者の思いや、家庭背景を踏まえて子どもを理解する力				<p>集団づくりに取り組む力 4</p>
	2 支援教育	支援教育に関する基礎的知識を有し、子ども一人ひとりのニーズや状況に応じて指導・支援を進める力				
	3 生徒指導	学校の生徒指導方針を理解し、報告・連絡・相談を通して多様な子どもに柔軟・適切に対応する力				
	4 保護者連携	家庭との連携を密に取り、常に情報共有することができる力				
	5 集団把握	子どもどうしの関係や集団の状況を把握するとともに、子どもが思いを出し合い、相互に違いを認め合う集団を形成する力				
	6 環境整備	子どもが安心して学習や生活できるように、学級・学校でのきまりを身に付けさせたり、教室環境を整えたりする力				
教員に求められる基礎的素養	1 信頼関係	子ども一人ひとりを尊重し、豊かな人間関係を構築する力				<p>教員に求められる基礎的素養 4</p>
	2 人権意識	人権に関する基礎的な知的理解を有し、確かな人権感覚に基づいて適切な指導を行う力				
	3 安全管理	学校の危機管理に必要な知識を有し、安全管理のための適切な対応ができる力				
	4 情報モラル	情報モラルやセキュリティの基本的な知識を身に付け、子どもが適切に利用できるよう指導する力				
	5 学び続ける力	先輩教職員の優れた取組みに学び、自己成長を図る力				
	6 自己改善力	自分の実践を振り返り、課題を見つけて改善する力				
組織の一員としての力	1 学校教育目標	学校教育目標達成に向けて、組織の一員として行動する力				<p>組織の一員としての力 4</p>
	2 同僚性	組織の一員として、協調性や柔軟性をもって、積極的に組織に参画する力				
	3 校内連携	学級・学年・分掌等自分の担当の中で生じた課題を解決するために、校内組織の中の適切な役割の人に助言や指導を仰ぐ力				
	4 外部連携	支援が必要な子どもの実態把握し、学年の教員や支援教育コーディネータに助言や指導を仰ぐ力				
	5 学級経営	学級の子ども一人ひとりの特徴を把握するとともに、学級全体の状況や課題も考慮して学級経営を行う力				
	6 PDCA活用	学級経営を目標、実行、評価、改善のPDCAサイクルにより改善する力				
社会人としての基礎的素養	1 課題解決力	子どもの課題を発見し、他の教職員と相談しながら、課題解決に向けて行動する力				<p>社会人としての基礎的素養 4</p>
	2 社会性	社会人としての常識的で、理性的な行動をする力				
	3 法令遵守	教育公務員として法令を遵守する力				
	4 事務能力	日々の事務的な処理や文書作成について、ICTを活用するとともに、活用を計画的に進め、遅延なくかつ正確・丁寧に処理する力				
	5 効率的な業務	自らの業務について俯瞰的に捉え、業務の優先順位を考えて効率的に行動する力				
	6 自己管理	自らのストレスと身体の健康について自己管理する力				

4:身に付いている、3:概ね身に付いている、2:あまり身に付いていない、1:身に付いていない

自己成長・確認シート No.2

- [1] 指定時期に、このページのレーダーチャートを作成する
- [2] マイポートフォリオ（様式見本）の①②を作成する

[1][2]を指導教員等へ提出
期日は、指導教員等に確認

		学校名	名前	2月	2年1月	月	日	作成
授業・ 教科の 指導力	1	教材理解	子ども主体の学習指導案の作成のために、教材や学習指導要領の内容について理解する力					
	2	学習指導案	ねらいを明確にし、学習計画を立て、基礎基本の定着を図り、知識を活用する力を育む、学習指導案を作成する力					
	3	授業技術1	効果的なICT活用や、ユニバーサルデザインの観点に基づいて、すべての子どもにとってわかりやすい授業を実践する力					
	4	授業技術2	授業を行う適切なスキル(説明、指示、板書、発問)を有し、子どもの状況を把握しながら授業を実践する力					
	5	評価と指導	学習に対する評価方法を理解し、学習指導に生かす力					
	6	授業改善	授業評価シートやアンケートフォームなどのICT活用を通して授業改善する力					
集団づくりに 取り組む力	1	背景理解	保護者の思いや、家庭背景を踏まえて子どもを理解する力					
	2	支援教育	支援教育に関する基礎的知識を有し、子ども一人ひとりのニーズや状況に応じて指導・支援を進める力					
	3	生徒指導	学校の生徒指導方針を理解し、報告・連絡・相談を通して多様な子どもにも柔軟・適切に対応する力					
	4	保護者連携	家庭との連携を密に取り、常に情報共有することができる力					
	5	集団把握	子どもどうしの関係や集団の状況を把握するとともに、子どもが思いを出し合い、相互に違いを認め合う集団を形成する力					
	6	環境整備	子どもが安心して学習や生活できるように、学級・学校でのきまりを身に付けさせたり、教室環境を整えたりする力					
教員に求めら れる基礎的 素養	1	信頼関係	子ども一人ひとりを尊重し、豊かな人間関係を構築する力					
	2	人権意識	人権に関する基礎的な知的理解を有し、確かな人権感覚に基づいて適切な指導を行う力					
	3	安全管理	学校の危機管理に必要な知識を有し、安全管理のための適切な対応ができる力					
	4	情報モラル	情報モラルやセキュリティの基本的な知識を身に付け、子どもが適切に利用できるよう指導する力					
	5	学び続ける力	先輩教職員の優れた取組みに学び、自己成長を図る力					
	6	自己改善力	自分の実践を振り返り、課題を見つけて改善する力					
組織の一員 としての力	1	学校教育目標	学校教育目標達成に向けて、組織の一員として行動する力					
	2	同僚性	組織の一員として、協調性や柔軟性をもって、積極的に組織に参画する力					
	3	校内連携	学級・学年・分掌等自分の担当の中で生じた課題を解決するために、校内組織の中の適切な役割の人に助言や指導を仰ぐ力					
	4	外部連携	支援が必要な子どもの実態把握し、学年の教員や支援教育コーディネーターに助言や指導を仰ぐ力					
	5	学級経営	学級の子ども一人ひとりの特徴を把握するとともに、学級全体の状況や課題も考慮して学級経営を行う力					
	6	PDCA活用	学級経営を目標、実行、評価、改善のPDCAサイクルにより改善する力					
社会人として の基礎的 素養	1	課題解決力	子どもの課題を発見し、他の教職員と相談しながら、課題解決に向けて行動する力					
	2	社会性	社会人としての常識的で、理性的な行動をする力					
	3	法令遵守	教育公務員として法令を遵守する力					
	4	事務能力	日々の事務的な処理や文書作成について、ICTを活用するとともに、活用を計画的に進め、遅延なくかつ正確・丁寧に処理する力					
	5	効率的な業務	自らの業務について俯瞰的に捉え、業務の優先順位を考えて効率的に行動する力					
	6	自己管理	自らのストレスと身体の健康について自己管理する力					

4:身に付いている、3:概ね身に付いている、2:あまり身に付いていない、1:身に付いていない

